

2018年10月29日 5Sは問題解決の一手段

※一言要約： 5Sとは、片づけや掃除が狙いではない。

5S活動が長続きしないのは、その活動の狙い・目的が片付けや掃除になってしまっており、その成果が、単に片付いた、きれいになったということで満足してしまっているからと考えられます。このために、本来の仕事が忙しくなると、後回しになり継続しなくなってしまうでしょう。

片付いた、きれいになったことから、手間がかからなくなった、間違いがなくなったなどの成果が本来の狙い・目的であることが必要なのです。

従って、5Sとは、「5Sをやらなければならない」ではなく、「5Sを実施することで問題を解決しよう」と考えてはどうでしょうか？

- ① 整然と片付いた工場で生産する部品や商品は、間違いも無く、品質が良い確かな部品や商品になります。 【品質改善】
- ② 材料・部品・製品が整然と収納・保管されていると、材料・部品・製品を探す時間も短縮され、作業の効率化に繋がります。 【生産性向上】
- ③ また、従業員にとっても、整然と片付いた清潔な工場で働くことは、心ウキウキとするものですし、安全です。 【意欲向上】、【安全性向上】
- ④ これらの片づけ・5Sをみんな(チーム)で実践することにより、仕事の質を高め、チーム力(結束力)を高めることができます。 【組織力向上】

5Sのポイントは、「置き場所を決め、何を置くかの表示をする」ことと「決めたことはみんなで守る」ですが、このことが現場の問題解決に繋がることが多いのです。

自分たちの職場に当てはめて考えてみては、いかがでしょうか？